

令和七年度 追分宿郷土館企画展

# 稲垣黄鶴 書の世界

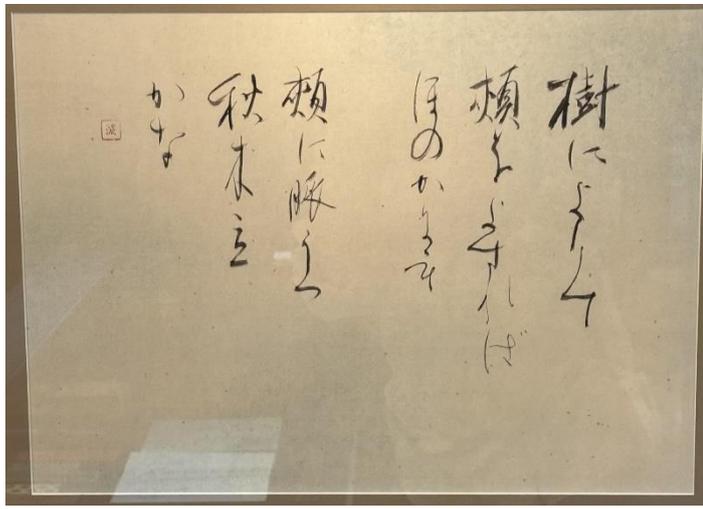
開館時間 午前九時～午後五時(最終入館 四時半)  
会場 離山公園 旧雨宮邸新座敷

～浅間嶺のあしたゆふべのそよかぜに～ 入場無料

七月一日(火)～十月三十一日(金)

稲垣黄鶴 (一九〇三～二〇〇六)

樹によりて  
ほほをよすれば  
ほのかにも  
ほほに脈うつ  
秋木立かな



軽井沢町追分に生まれ、一歳の時、上田藩主の祐筆を務めた湯浅家の養女となる。幼い頃より書に親しみ、小学四年生の時には、大正天皇の御前揮毫に浴するなど、幼い頃から才をあらわした。

書家 岩田鶴阜に師事。東京女子師範学校を卒業後、中国に渡り、日本高等女学院の教師をしながら、多くの書家と交流し、研鑽を積んだ。戦後は国内外(フランス・ドイツ)で個展を開き、書家として活躍する一方、日本書道院副会長、毎日書道展委嘱作家などの要職を務め、日本書道界の発展に寄与した。

生涯、ふるさと 軽井沢を愛した書家 稲垣黄鶴の書の世界をご覧ください。



床の間

お車でお越しの際は、軽井沢町歴史民俗資料館の駐車場をご利用ください(軽井沢駅方面より南原信号を右折)  
住所：長野県北佐久郡軽井沢町長倉 2 1 1 2 - 1 0 1